2001年版

患者ニーズに敏感に対応！

〝進化〟する病院 ❶

専門外来が1カ所に集合。各専門医が連携して1人の患者をフォロー

北青山Dクリニック

医療ミス多発、大病院への患者集中、保険医療財政の逼迫など、現代の医療の抱える問題は数多い。そんな状況下で新しい医療システムや治療法の導入などで患者のニーズにより敏感に対応していこうとする医療施設や医師たちが出現してきている。〝壁〟を破って突き進もうとしている医師たちを追いかけた。

正確な診断や高度な医療を求めて大学病院を受診する人は多いが、症状などによって複数の科を受診する必要が出てきた場合などは、診断と治療方針の決定まではかなりの時間がかかる。もし大学病院のいくつかの専門外来が1カ所に集まっていて各専門医が連携して一人の患者をフォローアップしていけたら、患者は時間を合理的に使って先進の医療を受けることが可能だ。

昨年10月に青山にオープンした北青山Dクリニックは、この「大学病院の出前」で質の高い最新の医療を提供することを目指したものだ。東京大学と慶応大学で医学を学び、その付属病院、関連病院で診療と研究に従事している平均年齢35歳の新進気鋭の若い医師たち6人が診療に当たる。

下肢静脈瘤の手術（円内は阿保義久院長）

日帰り手術から抗老化医療まで若い医師たちが質の高い医療を提供

病気はつくらないに越したことはない。近年急増の急性心筋梗塞や不安定狭心症、脳梗塞などの動脈硬化性疾患も、前兆を検査でチェックできれば、発症を未然に防ぐことができる。

「体表に近い所を走っている頸動脈は、心臓や脳の血管の象徴ともいえるので、頸動脈超音波検査を行えば心臓や脳の血管の動脈硬化度を推定することができます。その結果、血管病変の存在率が高いと考えられた時には、患者さんの希望によってですが、心臓と脳の両方の検査をします。一人ひとりの患者さんについて、循環器内科医と脳神経外科医が協力して検査結果の評価やそれに基づく治療を行うのです」（阿保院長）

心臓病を指摘されて心臓病の専門医にかかって治療を受けていたら、ある日突然、予期せぬ脳梗塞を発症して突然死などといった事態は起こらないのだ。

美容皮膚科や抗老化医療は新しい分野への取り組みだ。美容皮膚科ではクリニックで独自に開発した美容液の使用やレーザー治療を積極的に取り入れている。抗老化医療では今後、成長ホルモンなどを使ったホルモン療法なども検討していきたいという。

現在、働き盛りの受診者で多いのは、ほかの病院の治療で成人病のコントロールがつかない、家族に心筋梗塞や脳梗塞で倒れた人がいる、本人が糖尿病や高脂血症などを患っていて動脈硬化症が心配といった人たちだ。

「心臓病やがんなどについてセカンドオピニオンを求めて受診される方もいらっしゃいます」（阿保院長）

21世紀の理想の医療を先取りした形だ。診療は予約なしでもいいが、前もって予約しておけばベスト。

㊐☎03・5411・3555

日帰り手術（デイサージャリー）は、麻酔レベルを下げて患者を早く覚醒させる麻酔の工夫や、手術の精度を上げる技術などによって可能となった。適応になるのは下肢静脈瘤、鼠径ヘルニア、体表の腫瘍、超早期の乳がんなど。

「ほかにも大腸ポリープや早期大腸がんには、内視鏡下に粘膜切除術を行っているし、内痔核の手術を硬化療法と併用して行うこともあります。そのうち腹腔鏡下の胆石やがんの手術も視野に入れていく予定です」（阿保院長）